

## 体感安全教育施設・設備「はさまれ・巻き込まれ」に関するアンケート結果概要

## 0. 回答事業所：129 事業所

非鉄金属製造業：	30 事業所 (23. 3%)
化学工業：	30 事業所 (23. 3%)
パルプ・紙・紙加工品製造業：	17 事業所 (13. 2%)
輸送用機械器具製造業：	15 事業所 (11. 6%)
鉄鋼業：	13 事業所 (10. 1%)
金属製品製造業：	11 事業所 ( 8. 5%)
窯業・土石製品製造業	5 事業所 ( 3. 9%)
生産用機械器具製造業	2 事業所 ( 1. 6%)
プラスチック製品製造業	2 事業所 ( 1. 6%)
電気機械器具製造業	1 事業所 ( 0. 8%)
その他の製造業	3 事業所 ( 2. 3%)

## 1. 保有目的

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| ①. 危険に関する感受性向上：          | 94. 6% |
| ②. 経験の浅い労働者の安全意識向上：      | 87. 6% |
| ③. 座学だけでは安全意識向上困難：       | 84. 5% |
| ④. 職場に存在する危険の直感的理解：      | 75. 2% |
| ⑤. 「はさまれ・巻き込まれ」の事故件数が多い： | 66. 7% |
| ⑥. 知識・体験不足による危険予知能力の低下：  | 62. 8% |

## 2. 施設・設備による教育方法

## 2. 1. 施設・設備と教育時間

## 1) 保有施設・設備

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ①. ロール巻き込まれ：       | 62. 0% |
| ②. Vベルト巻き込まれ：      | 60. 5% |
| ③. チェーン巻き込まれ：      | 55. 0% |
| ④. エアーシリンダー残圧はさまれ： | 46. 5% |
| ⑤. 回転ドリル巻き込まれ：     | 35. 7% |
| ⑥. 玉掛けはさまれ：        | 33. 3% |

## 2) 指導時間

施設・設備によるが、15分以下が70%以上

## 2. 2. 指導員

## 1) 人員

①. 1～3人： 51.2%

②. 4～6人： 20.2%

\*10人以上が24.0%とあるが、他の体感安全教育施設・設備も含む？

## 2) 主な経歴

①. 安全衛生管理者： 82.2%

②. 有資格者： 34.1%

③. 製造ライン従事経験者：61.2%

## 2. 3. 習得すべきポイント

①. 現場作業と密接に関連する内容： 82.9%

②. 想像力を刺激し、「気づき」を促す内容：70.5%

③. 「体感を通じて学ぶこと」を目的： 49.6%

## 3. 利用状況

### 3. 1. 対象者

①. 新人： 99.2%

②. 課員： 72.9%

③. 班長（係長、主任）： 66.7%

④. 管理者（課長等）： 46.5%

⑤. 経営層（事業所長、事業部長等）：24.8%

### 3. 2. 利用状況

#### 1) 自社

①. 月に数回程度： 27.9%

②. 週に2～3回程度： 14.0%

③. 数ヶ月に1～2回程度： 12.4%

④. 新入社員採用時等： 27.9%

#### 2) 協力会社

①. 数ヶ月に1～2回程度： 16.3%

②. 月に数回程度： 15.5%

③. 新入社員採用時等： 16.3%

#### 3) 一般

一般への利用はしていないところが多い

## 4. 体感安全教育の課題

①. 想像力を刺激し、「気づき」を促す教育内容・指導方法：58.9%

②. 「体感を通じて学ぶこと」の教育目的の明確化： 41.9%

③. 実際の現場作業と関連する現実的な内容： 49.6%

- ④. 慣れ防止のためより危険・迫力のある体感追求： 27. 1%
- ⑤. 技能の信頼向上によるリスク低評価の傾向： 11. 6%
- ⑥. 教育における安全対策： 11. 6%

## 5. 設備の概要

### 6. 設備対応の設計思想

- ①. 会社あるいは事業所が決められている： 79. 8%
- ②. 部署毎に決められている： 9. 3%

### 7. 基準類の制定

- ①. 会社あるいは事業所が制定している： 76. 7%
- ②. 部署毎に決められている： 43. 4%

### 8. 設備対応および基準も併せて教育

- ①. 体感教育に設備対応および基準も併せて教育： 39. 5%
- ②. 体感安全教育に絞って教育： 48. 8%

## クロス集計

### 1. 事業所規模

#### 1) 保有施設

事業所規模の小さいところでは施設・設備の保有状況に特徴があるが、事業所規模の大きいところは各種の施設・設備を保有している。

#### 2) 保有目的

事業所規模により施設・設備の保有目的に若干の差違は見られるが、ほとんど変わらない。

### 2. 業種

#### 1) 保有施設

多くの業種が各種施設・設備を保有しているが、業種により保有する施設・設備に特徴が見られる。

#### 2) 保有目的

業種により保有目的に若干が差違が見られるが、ほとんど変わらない。